



2005年8月24日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹中 登一
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東証・大証・名証(各第一部)、札幌
決算期 3月
問合わせ先 広報部長 田中 昭弘
Tel:(03)3244-3201

会社分割により新設される原薬生産会社の概要確定のお知らせ

当社は、2005年8月24日開催の取締役会において、2006年4月1日を以って会社分割により設立される原薬生産会社「アステラスファーマケミカルズ株式会社」の分割計画書の承認を決議いたしましたので、お知らせいたします。

本会社分割は、既に2005年6月24日付の「会社分割による原薬生産部門の分社化に関するお知らせ」にて公表したとおり、当社高萩事業場における高萩工場、合成技術研究所の治験用原薬製造・分析機能、および原薬推進部の事業場管理機能をアステラス製薬本体より分割し、新たに原薬生産子会社を設立するものです。

会社分割の概要は以下の通りです。

記

1. 会社分割の目的

世界の医薬品市場での競争がますます激化するなか、事業効率の一層の向上を図るため、医薬品市場の環境変化に積極的に対応し、迅速かつ柔軟な施策を行うことが出来る体制にすべく、原薬製造機能の分社化を行うものです。今回新設される原薬生産会社は、治験用から最終製品向けの原薬製造機能を有することになり、治験用原薬の適時・的確な供給、スムーズな新製品生産への対応、アステラスグループにおける製品の安定供給ならびに原薬製造技術向上に寄与することを目指していきます。

2. 会社分割の要旨

(1) 分割の日程

分割計画書承認取締役会： 2005年8月24日
分割期日： 2006年4月1日
分割登記： 2006年4月3日

(2) 分割方式

分割方式

当社を分割会社とし、新たに設立する「アステラスファーマケミカルズ株式会社」を承継会社とする簡易新設分割であり、分割により発行する株式の総数を当社に割当てる物的分割であります。

本分割方式を採用した理由

新設会社は、当社の医薬品事業と密接に連携しながら事業を展開していくこと、ならびに分割する資産の規模や事業譲渡の機動性等を勘案した結果、最も合理的な方法であると判断し、本分割方式を採用しました。

(3) 株式の割当

新設会社が分割に際して発行する普通株式は2,000株であり、その全株式を当社に割当てます。

(4) 分割交付金

分割交付金の支払いは発生しません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

承継会社は、分割期日において当社高萩事業場で行われている医薬品の原薬生産業務にかかわる資産及び負債並びにその他の権利義務を当社から承継します。

(6) 債務履行の見込

本分割が分割会社である当社に与える財務的影響が軽微であること、承継会社において本分割後の事業活動において債務の履行に支障を及ぼす事象の発生は現在のところ予想されていないこと、また当社が承継する一切の債務について承継会社と併存的にその弁済責任を負担することから、当社及び承継会社が負担すべき債務の履行の确实性に問題はないものと考えています。

(7) 承継会社に新たに就任する役員

取締役	片野 元義	(技術本部 高萩工場長)
取締役	三好 敏昭	(技術本部 副本部長)
取締役	片柳 眞一郎	(経営戦略本部 経営企画部担当部長)
監査役	斎藤 健一郎	(常勤監査役)
監査役	吉高 英雄	(財務経理本部 経理部長)

(注) 名前の後の括弧内は、いずれも当社での現職位

3. 会社分割の当事会社の概要

	分割会社 (2005年6月30日現在)	承継会社 (2005年6月30日現在)
(1)商号	アステラス製薬株式会社	アステラスファーマケイブル株式会社
(2)事業内容	医薬品等の製造販売、輸出入	医薬品等の製造販売
(3)設立年月日	1923年4月	2006年4月
(4)本店所在地	東京都中央区日本橋本町2丁目3番11号	茨城県高萩市赤浜160
(5)代表者	代表取締役社長 竹中 登一	代表取締役社長 片野 元義
(6)資本金	101,130百万円	100百万円
(7)発行済株式総数	572,074,792株	2,000株
(8)株主資本	1,088,895百万円	約7,600百万円
(9)総資産	1,271,339百万円	約7,700百万円
(10)決算期	3月31日	3月31日
(11)従業員数	約6,600名(2005年4月1日現在)	約100名
(12)主要取引先	(株)メディセオホールディングス (株)スズケン アルファホールディングス(株) 他	アステラス製薬株式会社
(13)主要取引銀行	UFJ銀行 三井住友銀行 東京三菱銀行 みずほコーポレート銀行	未定
(14)当事会社の関係		
資本関係	承継会社は分割会社の100%子会社である。	
人的関係	会社分割にあたり、分割会社の関係従業員は、承継会社に転籍する。 分割会社は承継会社に役員を派遣する。	
取引関係	分割会社は承継会社に原薬の製造を委託する。	

(15)分割会社の最近3決算期間の業績(単位:百万円)			
決算期	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期
売上高	346,586	345,426	625,721
営業利益	97,249	89,246	148,275
経常利益	98,916	89,681	169,552
当期純利益	58,276	59,275	74,867
1株当たり当期純利益(円)	172.77	178.76	-
1株当たり配当金(円)	28.00	31.00	-
1株当たり株主資本(円)	1,834.21	2,010.31	-

アステラス製薬は、本年 4 月 1 日に山之内製薬と藤沢薬品の合併によって発足しました。このため、(15) 分割会社の最近 3 決算期間の業績の項目は、2003 年 3 月期ならびに 2004 年 3 月期については存続会社である旧山之内製薬の数値を、2005 年 3 月期は旧山之内製薬と旧藤沢薬品の数値を単純合算したものを記載しております。

4. 分割する事業部門の内容

(1) 高萩事業場 原薬製造部門の内容

分割の対象である高萩工場、合成技術研究所の一部、および原薬推進部の一部は、ともに医薬品の原薬生産業務を行っています。

(2) 最近終了した事業年度における売上高及び経常利益

当社は原薬製造部門単位での売上高並びに経常利益は作成しておりません。

(3) 譲渡資産・負債の項目及び金額

2005 年 6 月 30 日現在の貸借対照表に基づく、本分割による承継資産・負債の帳簿価格は以下の通りです。

資産額	負債額	純資産額
約 7,700 百万円	約 100 百万円	約 7,600 百万円

5. 会社分割後の状況

分割会社である当社の状況は、総資産を除いて上記「3. 会社分割の当事会社の概要」の内容で変更ありません。総資産については、分割により約 100 百万円減少する見込みです。

6. 本分割が業績に与える影響

- ・ 本分割に伴い、当社の 2006 年 3 月期の業績において、新たに約 16 億円の特別損失を計上する予定です。内訳は主に従業員の転籍に伴う費用ならびにシステム関連費用です。
- ・ なお、承継会社は当社の 100% 連結子会社となるため、本分割が当社の連結ベースでの業績に影響を与えることはありません。

以上